



立志 鍛錬 協調

令和2年6月18日号

立三中

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

新しい学校生活の形

校長 今本 由美子

6月1日から2週間の分散登校を経て、いよいよ15日より一斉登校、給食も始まり、午後までの学校生活が再開されました。ここまで、自らの健康管理に努めながら自宅学習に励み、学校再開の日に向け準備をしてくれていた生徒の皆さん、またそれを支え続けてくださった保護者の皆さま、温かく見守ってきてくださった地域の皆さま、本当にありがとうございました。この日を無事迎えられたことを本当にうれしく思います。これからも、感染症対策に努めながらの、試行錯誤の日々が続きます。まだまだ我慢をお願いすることが多くあると思います。それでも、一歩ずつ前に進んでいけるように、皆で気を付け、力を合わせながら、新しい学校生活の形を創っていきたいと思います。

さて、一斉登校再開となった15日の朝、放送による全校朝礼を行いました。その中で、生徒の皆さんに次のようなお話をしました。

「新しい学校生活を始めるにあたって、皆さんに心がけてほしいことがあります。それは、“人との距離”です。人と人との物理的な距離、“Physical Distance”は、感染症予防、拡散防止の観点から必要なことです。しかし、物理的な距離はとっても、心と心の距離は近いままでいてほしいのです。

新型コロナウイルス感染症が拡がりを見せ始めたころから、感染のリスクと闘いながら、私たちの命を守るために、生活を支えるために働き続けている様々な業種の方、ウイルスに感染した方やそのご家族に対し、残念ながら、心無い言葉を浴びせたり、行動をとる人たちのニュースが何度となく伝えられてきました。不安や恐怖心から、新型コロナウイルス感染症に関わる人を遠ざけようとする気持ちが、このような言動に表れてしまったのかもしれませんが、でも、もし自分が、自分の大切な人がそんなことをされたら…、そう考えることができたなら、その人の行動は違っていただいてもいいかもしれません。

物理的な距離をとらなければいけない今だからこそ、心の距離は近く、相手の思いや、気持ちを感じ取れる人であってほしいと願っています。」

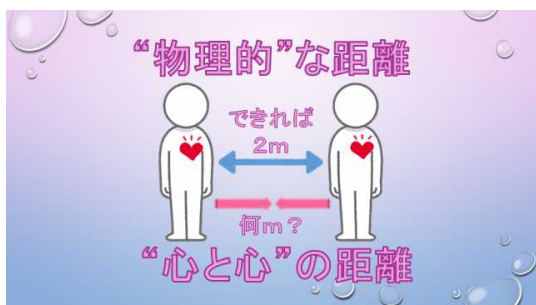
また、生活指導主任からは、次のようなお話がありました。「学校生活の中では、様々な制約があります。しかし、あれはダメ、これはダメとルールばかりの生活にはしたくありません。君たちなら『今、どのような行動が求められているのか』『正しい行動とは何か』を考え



分散登校の様子



下校後の消毒作業





給食では、全員が前を向いて…
先生は、衝立シールドを使って…

て生活することができると思っています。“自分を守る”
“周囲の人を守る”“自分の大切な人を守る”これらのことを考えたとき、自然と正しい行動をとることができると思います。ルールや決まりも大切です。しかし、それ以上に、自分や周りの人を思いやる心から生まれる『マナー』が求められています。みんなで思いやりとマナーのあふれる学校生活を作りましょう。先生たちも頑張ります。一緒に頑張らしましょう！」

以前より窮屈な学校生活であることは確かです。不安な気持ちもあると思います。でも、それを誰かのせいにしたり、諦めたりするのではなく、どう工夫したらより生活しやすくなるか、安心して皆が生活できるのかを考えていきましょう。今ここが、新しい学校生活のスタート地点です。後戻りすることなく、前に向かって！！

～ 離任された先生方からのメッセージ ① ～

今年度は、離任式を行うことができませんでした。そこで、先生方から頂いたメッセージを6月号と7月号で紹介いたします。

山口 真一 校長先生（立川市立立川第一中学校）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため長期間の休校となり、多くの活動が制限されました。6月になって学校が再開し、毎日の生活に生き生きと取り組んでいることと思います。これまで、三中では地域と連携した教育活動を進め、皆さんは、様々な成果を残してくれました。挨拶運動や防災活動、地域のお祭りや行事でのボランティア活動など、近隣でも評判の学校になりました。

何事にも主体的に取り組むことにより、将来、社会で活躍できる力が確実に育っています。これからも一日一日の活動に真剣に取り組み、多くの方々と協力して、三中をよりいっそう盛り上げてください。応援しています。

山崎 千尋 先生（羽村市立羽村第三中学校）

17年間、大変お世話になり、ありがとうございました。部活動では、15年間女子バスケットボール部顧問として、再任用となった2年間は、男子バレーボール部管理顧問としてお世話になりました。元気な挨拶と向上心のある素直な生徒達との日々は私の貴重な財産となっています。さらに保護者地域の皆様と諸先生方には、公私ともに心温まるご指導ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

今回、立川三中生の伝統である元気な挨拶と校歌を聞くことができず残念です。羽村三中は元同僚の先生や保護者に教え子が複数名いて、学校の立地状況や落ち着いた生徒達とチームワークの良い先生方の雰囲気立川三中に似ていて違和感なく元気に過ごしています。末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈りし、離任の挨拶に代えさせていただきます。

高橋 千鶴子 先生（立川市立立川第八中学校）

いつでも「こんにちは」と元気なあいさつで声を掛けてくれる三中生のみなさんでした。明るく優しいみなさんと、楽しく充実した8年間を過ごさせていただきました。家庭科担当として授業を通して、1C、2B、3C、1A、2A、3A、1D、2Dの担任として、合唱コンクールの実行委員担当として、図書委員担当として、体験部の顧問として、、、そして、何気ない日々の学校生活の中でたくさんの思い出ができました。お世話になりました。ありがとうございました。

このような不安定な社会情勢ですが、みなさんも強くしなやかな心持ちで、でも無理をし過ぎずに頑張ってくださいね。私も頑張ります。